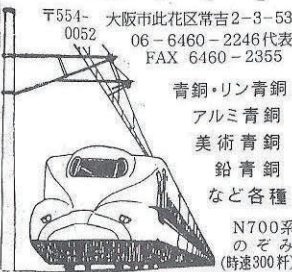


新幹線を支える イグチの銅合金インゴット

高品質を追求するイグチの銅合金地金は
鉄道架線金具に使用され、新幹線やJR
各線の安全運転のお役に立っています

株式会社 **イグチ**



63S・D粉 銅・真鍮粉

(株) **アイコー**

代表取締役 宮本盛徳

東大阪市洪川町2-9-27
本社 (06) 4307-0600

三重県伊賀市西之沢162
伊賀アルミセンター (0595) 45-6510

日刊メタルレポート

◆自動車生産台数

	9月	10月	11月
生産台数	92万4963台	75万1620台	80万2009台
前月比	+33.9%	-18.7%	+6.7%
前年同期	+45.2%	-1.1%	+4.8%

◆自動車販売台数

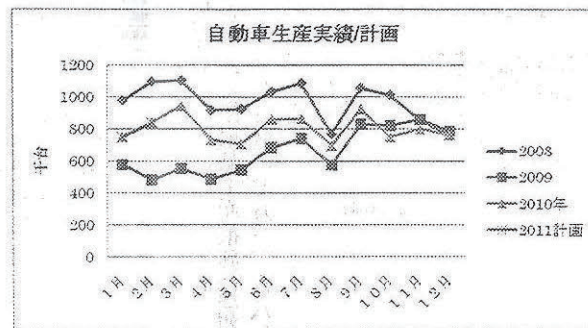
	10月	11月	12月
販売台数	19万3258台	20万3246台	17万9606台
前月比	-37.4%	+5.2%	-11.6%
前年同期	-18.1%	+19.1%	-14.6%

◆計画台数

12月発表の自動車生産計画は以下の通り

	12月	1月	2月
計画台数	76万6千台	75万1千台	83万9千台
前月比	-4.5%	-2%	+11.7%

自動車生産台数推移



(二面へ続く)

株式会社 日刊金属新聞社

発行人 小林恒甫

本社 大阪市城東区蒲生1-3-7
電話 (06) 6932-5443 代表

北陸支社 富山市曙町1-30-508号内
電話 (076) 444-6836

購読料 半カ年44,100円(前納) 3カ月22,050円



橋本健一郎氏

輸出はスクラップが増加 輸入は電気銅が二二・四％増

橋本健一郎氏リポート①

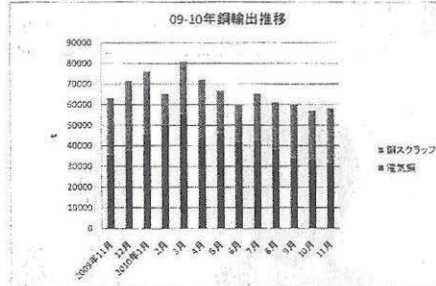
【概況】十二月前半、オバマ政権の中間選挙での大敗による共和党への歩み寄りからブッシュ減税(高所得者減税)延長が決定したこと、PMI指数(製造業景況感指数)が世界的に好調だったこと、さらに英ETFセキユリティーズが銅ETF(投資信託)を上場したことによる追加的な流動資金流入をうけて上昇、LME銅も九、二五八ドル(現物後場買い)とついに九、〇〇〇ドルを突破した。後半は十一月の米GDPが二・六％増と上方修正されたことや、その他雇用統計、住宅着工数などの好調に伴う米景気回復期待、さらに十一月の中国精銅輸入が三七％増と予想以上の増加を好感!十二月末日までに三日間連続最高値を更新、一月十一日現在、欧州懸念の台頭を受けて九、三八四ドル(セツル)、建値は八二万円でのスタートとなった。

【前月の経済指標】
(自動車各指標)

◆貿易関連指標

輸出	9月	10月	11月
電気鋼	3万3853t	3万3294t	3万1612t
前月比	-11%	-1.65%	-5.1%
スクラップ	2万6010t	2万3677t	2万6494t
前月比	+13.5%	-9%	+11.9%

輸出推移

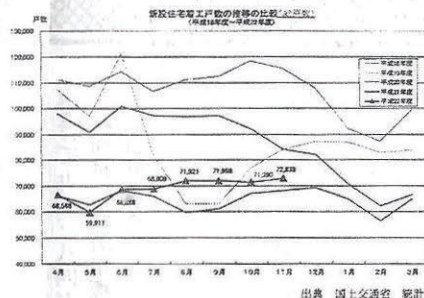


◆貿易関連指標

◆新設住宅着工戸数

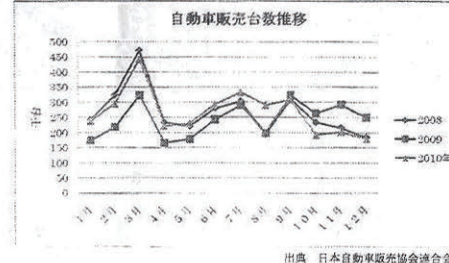
	9月	10月	11月
日本新設住宅着工戸数	7万1998戸	7万1090戸	7万2838戸
前月比	+0%	-0.6%	+2%
前年同期	+2.4%	+9.7%	-4.5%

新設住宅着工戸数推移



◆新設住宅着工戸数

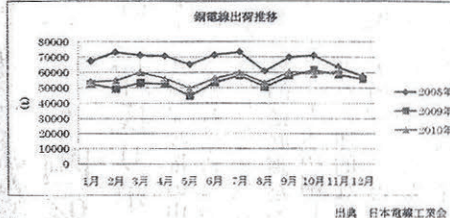
自動車販売台数推移



(二面より続く)

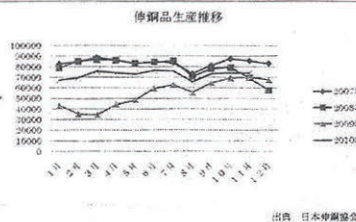
メーカーの買い控えが続くなど

海外銅相場は上昇が予想されるも



(第六面へ続く)

日本電線工業会発表の出荷速報(推定)は、前月比三割増の六万一千十であった。(前年同期四・五割減)。



【前月の国内指標】
日本伸銅協会発表の伸銅品生産推移(速報)によれば前月比〇・七割減の七万三、六八〇t(前年同期一・三割増)。

輸入	9月	10月	11月
電気鋼	4592t	3759t	4600t
前月比	+18.3%	-18.1%	+22.4%
スクラップ	8842t	10107t	9354t
前月比	+23.8%	+14.3%	-7.5%

輸入推移



海外非鉄金属相場

(12月29日入電)

◇COMEX・NYMEX		12月	1月	出来高	
銅		432.40 (+ 4.90)	432.40	11,567口	
アルミ	上場廃止				
白金	1月	1,751.70 (+ 16.20)	4月 1,757.20	7,864	
金		1,405.20 (+ 22.80)	1,405.20	101,588	
銀		3,029.70 (+ 106.20)	3,029.70	36,852	
パラジウム		787.20 (+ 20.00)	3月 787.20	3,315	
◇L M E		現 物	先 物	セツルメント	出来高
銅	(ドル建)				
場 外					
鉛	(ドル建)				
亜鉛	(〃)				
すず	(〃)				
アルミ	(〃)				
〃二次合金	(〃)				
ニッケル	(〃)				
アルミ	(NASAA)				
ボクシングデーで休場					
◇ニューヨーク・スポット					
銀	(H・H)		3,020.00 ¢		
取引業者銅			438.10 ~ 438.60		
2号銅線			387.60 ~ 392.60		

◇ロンドン相場

金		
ロジウム	99.65 %	
アンチモニー	99.95 %	
カドミ		
コバルト		
水銀		
ビスマ		
チタニウム		
タングステン		
鉍石		

ボクシングデーで休場

【第二面より続く】
 【見通し】
 伸銅品生産は前月比〇・七%減、前年同期の一・三%増から小幅下落。
 自動車生産は前月比六・七%増の八〇万台と大幅上昇。前月に続き十二月の国内自動車販売も統計以来の最低水準を更新するも、十二月の自動車生産計画が前年並みとのことから内需不振を輸出がカバーするのでは。銅電線出荷量も前月比三%増と輸出に救われる形に。
 新設住宅着工数は前月比二%増の七万二千戸台。
 銅原料需要に関してメーカーは前月に続き十二月中に建値八四万円、LM E九、八〇〇ドルと最高値を付けたことによる売り込みが殺到し在庫は潤沢。米中経済の好調をうけて需要増加を予測するも、足元在庫の飽和や高値警戒感からメーカーは買い控え、買い止めが続く。
 銅価格は銅建値ベースの銅・合金スクラップは長期的には鉱石不足による供給懸念や、E T Fにより投機資金が入りやすい状況にあり上昇が予測されるが、中国の利上げ懸念や急騰による調整感からLM Eに関しては下値九、〇〇〇ドル、上値九、五〇〇ドル。銅・

銅合金スクラップに関しては銅建値で七九、八三万円程度と予測している。

インドの三〇〇万台を突破

新車販売

経済成長著しく中間層が増加
 インド自動車工業会(SIAM)がこの程発表した二〇一〇年の同国の新車販売台数は前年比三四・一%増の三〇三万八、九六二台と、初めて三〇〇万台の大台を突破した。内訳は、乗用車が同三・三%増の二三八万六、二七〇台、商用車は同四五・二%増の六五万二、六九二台。

〇九年の販売台数は約二二六万台だった。経済成長が著しいインドで、車を購入できる中間層が増加していることが販売台数の伸びを後押ししているとみられる。

一方、一〇年十二月の新車販売台数は、乗用車が一九万三、六八五台(前年同月一四万九、一六六台)、商用車が六万二、八八〇台(同四万八、六二二台)だった。

◇東工取(十三日前引)

金	三、七〇四円
銀	七九・一〇
白金	四、八〇三
パラジウム	二、一五〇